

振り込め詐欺の防犯対策について

現在、新潟県内で多発している振り込め詐欺の被害事案と対策をご紹介します。

被害事案

1 前兆電話の内容

8月19日午前11時10分頃、新潟市北区早通南地区内居住の女性（76歳）宅に「新潟市の警察」を名乗る男から

○キャッシュカードの詐欺があり、あなたのカードの暗証番号が漏れていた。既に現金が下ろされているので、これから金融庁の者が電話を架ける。

などと電話があり、その後更に、「金融庁」を名乗る男から、

○あなたの全てのカードの情報が漏れている。これからヤマモトという者がカードを取りに行く。と言われ、キャッシュカード3枚の暗証番号を教えてしまった。



2 被害時の状況

同日午前11時50分ころ、「ヤマモト」と名乗る男が被害者宅を訪れたことから、キャッシュカード3枚を渡してしまったもので、その後男に渡した3枚のカードで、銀行のATMから現金合計330万円を引き下ろされる被害に遭った。

防犯対策

- 警察官や銀行員などを騙る振り込め詐欺が多い
- 他人には絶対にキャッシュカードなどは預けない
- 警察官や銀行員が暗証番号を尋ねることはない

振り込め詐欺は、
ご両親や身内の方がお子さんやお孫さんを心配する心の際に入り込み、
多額の現金を振り込ませる悪質な犯罪です。
少しでも「なにかおかしい？」と思ったら最寄りの警察に連絡してください。